

# 令和2年度南丹市 健幸・食育レシピコンテスト事業実施要領

## 1 目的

子どもの頃から食に関心を持ち、食の自立に繋がる一連の力がつくよう小学校、中学校の児童生徒にレシピを公募し、考案されたレシピが学校や市内の飲食店舗に広く普及し、南丹市が食を通じて健幸で元気なまちづくりを目指すことを目的とする。

## 2 事業の背景

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、緊急事態宣言が発令されたことにより長期にわたる自粛生活、今もなお家庭で過ごす時間が増えている。また、子ども達においても長期にわたる休校で、食生活の課題（栄養不足や栄養バランスの偏り）が心配されている。今後も、家庭で過ごす時間が多くなる中で、子ども達に今だからこそ自分の食事を見直し、メニューの作成や調理を通して、健康な食生活を家族と一緒に考える機会とする。

その中で、健康面には欠かせない野菜の種類や調理法を知り、子どもの頃から摂取する習慣を身につけるとともに、地産地消を含め広く食生活の改善を普及する。

また、子どもたちが考案したレシピが新型コロナウイルス感染症で余儀なく自粛となった市内の飲食店を応援する食育レシピになるよう計画し、市内全体が明るく健幸に繋がる取組とする。

## 3、名称 南丹市健幸・食育レシピコンテスト

「めざせ！ぼくも、わたしも野菜シェフ！」

～みんなのレシピで家族やまちを元気にしてみませんか～

## 4、募集テーマ

- ・身近な野菜を使ったレシピ

※野菜を積極的に使ったもので、魚、肉、卵、大豆・大豆製品、を組み合わせるとよい

地産地消の食材（壬生菜、水菜等）歓迎

- ・家族で食を囲めるような家庭的なレシピのイメージで、家族と一緒にメニューを考えることを可とする

## 5、対象者

南丹市内在住の小、中学生

## 6、募集方法

(1) 市内小中学校を通し案内チラシ、応募用紙を配布

(2) お知らせなんたん、南丹テレビ、南丹市ホームページ、南丹市ライン

※お知らせ8月号（8月第2金曜発行）で募集

## 7、応募用紙（内容）

所定の応募用紙に料理名、材料、分量、作り方、調理時間、コメントを記入し写真を添付する（A3用紙1枚に、案内チラシ、応募用紙、記入例等を掲載する）

※1人で複数のレシピを提出の場合は、応募用紙をコピーし使用

保健医療課または、ホームページからダウンロード

## 8、締切り

令和2年9月30日（水）までとする  
提出先は南丹市役所保健医療課とする。

## 9、レシピコンテスト審査員

- ・小中学校栄養教諭、南丹市商工会、南丹市食生活改善推進員協議会、南丹市健幸まちづくり推進協議会、行政食育担当者等
- ・1次審査・小中学校栄養教諭及び南丹市保健医療課管理栄養士による書類審査  
10月実施
- ・2次審査・日時：令和2年11月26日（木）午後  
会場：園部保健福祉センター
  - ・南丹市立保健福祉センター栄養実習室で調理したものを審査
  - ・審査員  
小中学校栄養教諭、南丹市商工会代表、南丹市食生活改善推進員協議会代表、南丹市健幸まちづくり推進協議会代表、保健医療課管理栄養士、行政食育担当者、市関係者

## 10、賞および表彰

- (1) 応募者全員に参加賞
- (2) 審査の結果小学生、中学生各部門上位3名に対し表彰  
(最優秀賞1名、優秀賞2名)
- (3) 12月頃に結果を報告し2月に表彰する

## 11、その他

- ・応募レシピに関する著作権などの権利は、主催者に帰属するものとし、広く市民に普及する。  
(例：イベント、広報、ホームページなど)
- ・応募レシピの返却は、不可
- ・1人で複数のレシピの応募は、可能
- ・入賞者のレシピを、教育委員会（小中学校）に保健医療課から配付
- ・商品化可能な店舗へは、保健医療課がPOPや栄養価の表示、持ち帰り用レシピその他、必要に応じてポスターなどを作成し、店頭等で配布可能な媒体を持参する  
広報なんたん2月号、南丹テレビ、南丹市ホームページ、南丹市ラインで、コンテスト結果と購入可能な店舗名を掲載  
販売量、価格、販売頻度、販売期間の延長などは、各店舗に一任する

## 12、予算

<歳出>

一般会計 衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費 健康づくり推進事業